

阿賀野川水系阿賀川 河川改修・ダム洪水調節の効果（平成30年10月台風24号）

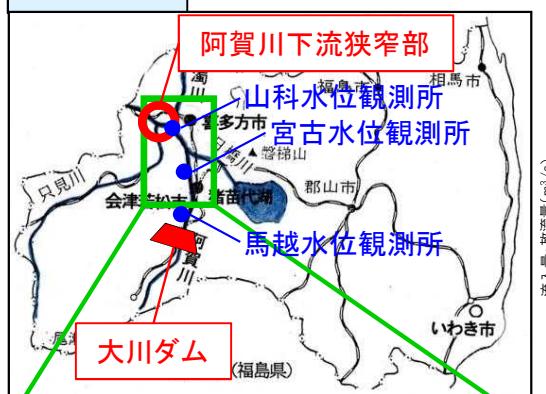
■阿賀川では、宮古水位観測所において、氾濫注意水位を超過。

■上流の大川ダムの洪水調節により、下流に流す流量を最大約70m³/s低減し、被害軽減に努めました。

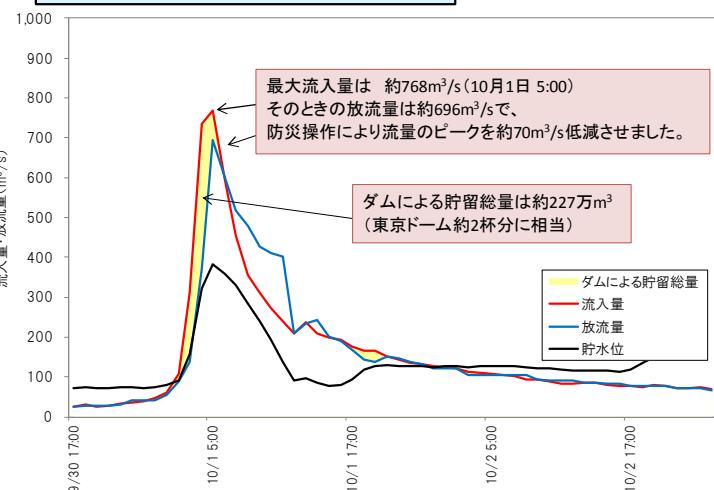
■昭和57年、平成14年等の洪水を契機に、下流の狭窄部で断面の拡幅を進めており、泡ノ巻地区、津尻地区の順に拡幅を完了しました（平成21年度より長井地区で拡幅を実施中）。これにより、喜多方市および会津坂下町の水位低減が図られました。

■H30.10洪水では、河道掘削および大川ダムの洪水調節により、山科水位観測所において約0.99mの水位低下効果を発揮しました。

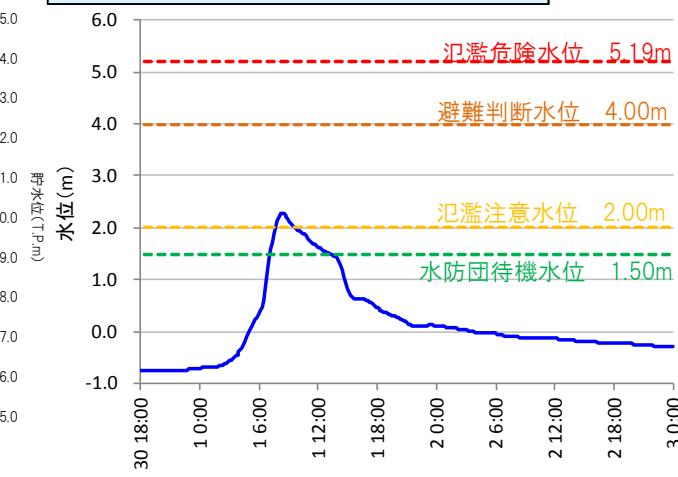
位置図



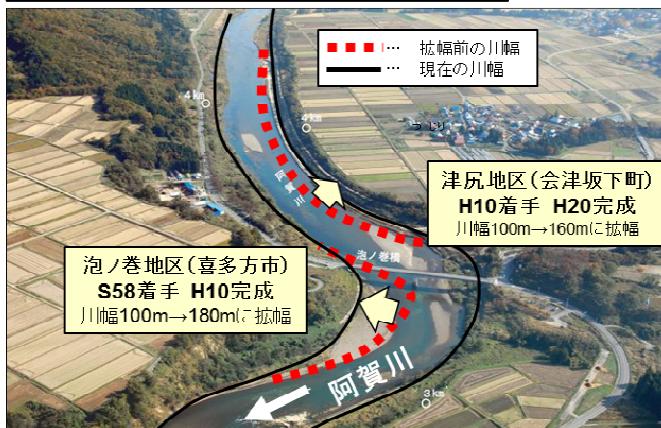
大川ダム 洪水調節



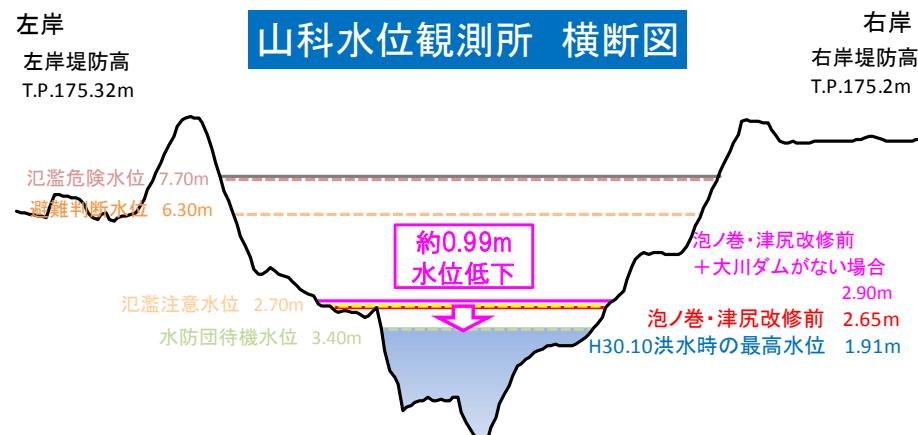
出水の状況(宮古観測所)



阿賀川下流狭窄部の拡幅



阿賀川下流狭窄部の拡幅



＜本数値は、速報値であるため変更となる可能性があります。＞

※大川ダムのピークカット効果量、狭窄部直上流の河道HQから、水位低減効果を算出